

教育目標 「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」

重点目標 「 豊かな心 確かな学力 健やかな身体 」

中朝日子

あ さ ひ こ

佐渡市立畑野中学校 学校だより

令和 6 年 11 月 22 日(金) 第 5 号

著・編 校長 福井 晴人 (TEL 66-2058)

<http://hatano-js.sado.ed.jp/>

E-mail hatano-js@sado.ed.jp



人を感動させる力



11 月 2 日に令和 6 年度畑野中学校学習発表会が行われました。総合学習の発表、各学年及び全校の合唱、畑野音頭、有志による発表が行われ、どの発表も一生懸命な気持ちが伝わるような素晴らしい発表でした。発表者、そして発表会を支えてくれた全員に拍手と感謝です。全校合唱の実行委員長が感想で書いているように、見ている人に感動を与えられるような発表でした。それは、皆さんが一つの発表を創り上げるまでに一生懸命努力し、その努力が伝わったからだと思います。皆さんの努力には、人を感動させる力があります。このことを忘れず、これからも頑張ってください。

学習発表会実行委員長 S.K

僕は、実行委員長として学習発表会を成功させたいと思い、準備の段階から頑張ってきました。

有志発表のオーディションに応募する人がなかなか集まらず、たくさんの人に声をかけました。おかげでたくさんの応募がありました。当日僕は裏方にまわり、CD 操作などを担当し苦労しました。放送室の小窓から覗くと、楽しんでいる生徒が多く嬉しくなりました。有志発表が成功できてよかったです。

発表会は、僕のあいさつから始まり、緊張しましたが、きちんとあいさつでき、とてもホッとしました。一年生の畑野音頭の発表や各学年の総合的な学習の時間の各学年代表からの発表がスムーズに進み、合唱発表では、実行委員を中心に練習を重ね、よい発表会となりました。

全校生徒のみなさんの頑張りで達成感の感じられるすばらしい学習発表会になりました。ありがとうございました。

3 年合唱指揮 S.H

僕たち 3 年生は 6 分間という長い曲を選びました。そんな長くて難しい曲を歌う上で、最初は「こんなに難しい合唱ができるだろうか」という不安な気持ちで練習がスタートしました。

3 年生は、男声パートと女声パートの人数比が合わなくて、声の大きさが違ったり、曲が長くて歌詞が覚えられなかったりと不安はますます大きくなっていきました。しかし僕たちは、3 年生としてみんなで最高の合唱にしたいという熱い気持ちがありました。他のパートの声を聞いて合わせたり、何度も練習して歌詞を覚えたりと、少しずつみんなの心が一つになっていきました。そんな頑張りのもあり、最後はとても一体感のある素晴らしい合唱になりました。課題だった歌の入りや最後のサビの部分も練習通りにできて良かったです。長い合唱だった分、達成感がありました。

三年生の皆さん、本当にご苦労様でした。そして、これからもみんなで協力して残りわずかな中学校生活も存分に楽しみましょう。

合唱実行委員長 Y.R

みなさん、お疲れさまでした。そして、素晴らしい思い出をありがとうございます。

このような感動的な体験は今までにありません。最も感動的だったのは、全校が一体となった全校合唱でした。体育館に響き渡る歌声は人の心を感動させることができたのではないかと感じています。

私自身、実行委員長として正直、みなさんに対して何もできなかったのですが、みなさんから多くの力をもらったことに感謝します。これからはこの経験をもとに今まで以上に頑張っていきたいと思います。一年生も二年生も今回のこの経験を来年に活かして、これまで以上に素晴らしい学習発表会にしていってください。学習発表会に参観して下さった方、支援して下さった先生方、一緒に盛り上げてくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

1 年合唱指揮 K.Y

私たち 1 年生は、学習発表会で「翼をください」を歌いました。みんなで声を出すように頑張って、姿勢や発音など細かい部分にも気をつけながら歌いました。

練習では、パートリーダーの人たち皆が歌っているところを見た感想や反省点を言って、注意されたことを意識して練習に取り組みました。

本番では、みんな練習より声が出ていたし、姿勢や表情などもよかったです。来年も声を出して頑張っていきたいです。

畑野音頭 K.S

一年生全員で、学習発表会で、畑野音頭をやりました。僕は、原稿を読みながら紹介する役割になり、本番では少し間違えてしまったけれど、自分なりに頑張れたな、と思いました。

踊りは、最初の練習など、やはり最初のほうは自分も含め、一部踊りができていない人もいました。しかし、練習を重ねていくうちに、全員上手になり、本番では、各々がとても真剣に踊っていて、個人的には練習以上の成果が出た、良い結果になったのではないかな、と思いました。僕は、こうして何事にも真剣に取り組んでくれるクラスメイトと発表ができて、とてもよかったです。ありがとうございました。

2年合唱指揮 S.R

僕は1学期から、クラス合唱の指揮者をやってみたいと思っていました。夏休み中も指揮者をしてみたいという気持ちは変わりませんでした。今までは何かに立候補したことがなかったので、「自分なんか指揮者に立候補して大丈夫かな」と不安でしたが、友達が「蓮音ならできるよ」と応援してくれたので、思い切って立候補しました。

僕が指揮者で頑張ったことは2つあります。1つ目は、指揮者の練習です。テンポがずれないように指揮をするのはとても難しかったです。クラスでの合唱練習が終わったあとも、自主練習をして、大きく見えやすい指揮になるように頑張りました。2つ目は、学習発表会本番です。本番前は、たくさんの観客の前で指揮することに緊張していました。しかし、指揮者をやろうと思ったときの前向きな気持ちを思い出したら、頑張ることができました。クラスの皆の歌声は、ソプラノ・アルト・男声パートの声が合わさって、「大切なもの」を最初に歌ったときよりもずっと良くなっていて、感動しました。歌い終わったあとに、友達が「蓮音の指揮よかったよ！」と言ってくれたのがうれしかったです。

最初は指揮者をちゃんとできるのか不安だったけれど、皆の歌声を聞いて、僕も指揮者としてクラスに貢献できたんだなと思えました。ありがとうございました。

令和6年度 納税表彰式



令和6年度中学生「税についての作文」 佐渡市長賞おめでとうございます！

「税」というと、皆さんどのようなイメージをもっていますか。なかなか中学生には難しく、イメージしづらいのではないのでしょうか。このような「税」について、子どもたちにもっと知ってもらおうと始まったのが、この「税についての作文」コンクールです。全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が主催し、毎年全国の中学生を対象に行われています。このコンクールにおいて、2年生の信田穂香さんが見事「佐渡市長賞」に選ばれました。とても素晴らしい作文ですので、皆さんもぜひ一読し、「税」について少しでも関心をもってほしいと思います。

税金のおかげで

佐渡市立畑野中学校 2年 S.H

税金と税金を納めている大人の人たちに感謝しなくちゃ！と、私は思いました。理由は、自分が如何に税金に助けられているか知ったからです。私は未成年で働けないし、税を納める事ありません。お店で買い物をしたときに10%の消費税を払う程度です。でも私が毎日、不自由なく過ごせているのは税金があって、それを払う人がいてこそだと思ったからです。

まずは学校です。例えば校舎、私が快適な環境で勉強ができるのは教室のおかげです。そして体育館。私はバレーボール部に所属しているのですが、運動できる場所がなければ部活もできません。他にも、黒板や教室の机、椅子、教科書、タブレットなど、たくさんの物に、税金が使われています。あと私は学校給食が好きで、毎日楽しみにして学校に行っているのですが、なんと私たちが負担しているのは材料費だけ。調理師さんの給料、調理器具や食器を買うお金、調理するための燃料費などは、税金から支払われているのです。毎日おいしい給食が食べられるのも税金があるおかげなのです。

つぎに病院です。私たちは病気やけがで病院に行きます。そのとき払う医療費は、税金が負担してくれています。つまり、税金がなければ医療費はもっと高いものになります。他にも、救急車を呼べば無料で病院に運んでもらえるけど、税金がなければお金を払わないと運んでもらえない、という事態になります。私たちが元気に健康に過ごせているのも税金のおかげなのです。

また町の治安にも関わってきます。例えば警察の交番を建てるのには税金が必要です。パトロールをするためのパトカーや捜査に必要な道具類なども、全て税金が使われます。町の安全を守ってくれる警察にも税金が使われているのです。それから消防署、市役所、公園、ゴミ処理施設、道路や橋の整備などと私たちが普段から利用するものが安全に使えたり、きれいな場所で暮らせたりできるのも税金が使われて成り立っているからなのです。

例をいくつかあげてきましたが、税金のおかげで成り立っているものは他にもたくさんあります。税金で成り立っているものを、日頃から利用している訳です。現状で私は税を納めていません。でもこんなに整った環境で過ごせるのは税を納めている人がいるからであり、その事に感謝しないと、と思います。私も大人になり、働いて税を納める事になると思います。その税金が人の役に立つことを願っています。